

特集 対談



地方都市の中心市街地とUR都市機構の役割

～中心市街地活性化法をめぐって～

中心市街地活性化法に 期待するもの

近藤 今日では全国の多くの都市で課題となっている中心市街地活性化の動向とUR都市機構の取り組みについて、お話を伺ってきたいと思えます。中心市街地は都市整備上の大きな課題で、平成10年に中心市街地整備改善活性化法(略称)が制定され、全国で600数十の都市でこの法律に基づいて基本計画が策定されましたが残念ながら十分な成果があげられませんでした。そこで取り組みを強化しようという市町村を重点的に支援するため、内閣総理大臣を長とする中心市街地活性化本部が発足し、国による中心市街地活性化基本計画認定の制度ができました。この2月8日に第1号として富山市と青森市が認定されましたが、岸井先生は中心市街地の課題の特徴やうまくいっている都市、そうでない都市など全国的にどのようにご覧になっていますか。

岸井 まず中心市街地問題の原因を振り返って見ますと、理由は二つあると思います。一つは東京に対する地方全域の問題、もう一つは地域のなかでの旧市街地と郊外部の新旧市街地との問題です。最初の方は戦後わが国が一貫して取り組んできた課題ですが解決できていない。施策は必ずしも失敗ばかりではなく昔に比べると出稼ぎとか集団就職の状況など明らかに変わっています。しかし東京一極集中と地方都市の停滞という相対的な問題はいまも抱えています。地方都市の中心市街地の衰退と結びついています。次の地方都市の旧市街地と新旧市街地の問題というのは、そのまちの歴史と現代の都市生活との矛盾の露呈です。車社会になって中心部から環境の良い郊外に住まいを求めて生活を広げる、それによって

商業や生活サービス機能が車の利用を前提にした新しいスタイルになった。加えて手狭な中心市街地では車社会を受け入れにくい、機能更新をするにも土地がないということ、市役所や病院などの多くの公共施設も郊外へ出ていった、そういったことが問題に拍車をかけたのです。都市ですから何か一つに手を付けられずすべてが解決するという訳ではありません。ヨーロッパは都市の拡大に対し規制が厳しいのですが、アメリカは典型的な車社会で郊外型です。中心市街地は高齢者だけが残り、住民不在の土地が管理活用されなくて駐車場になる、結果中心部に低密度の高齢社会が生まれ、商業の問題以前にコミュニケーションの維持ができない、それが本質的な課題で日本でも考えなければならぬテーマだと思います。

近藤 改正前の中心市街地活性化法は、中心商店街活性化法ではないか(笑)と言われたほど商業機能を復活させるといふ視点での取り組みに片寄り過ぎていた都市が多かったように思います。都市の中心というのはもともとその都市の歴史や文化を育んだ多様な機能があつて、住む場所であり、学ぶ場所、働く場所であり、憩える場所でもあるわけですね。住宅や学校、公共公益施設の配置など、総合的に都市での生活がどうあるべきかをきちんと議論して解決策を考えなくてはいいなかったのだといまになって思うのですが、改正後は本質的な議論がしやすくなったと思いますね。

岸井 商業というのは本質的に競争ですよ。魅力的なところに人々が集まるのは至極当然であつて、無理矢理中心市街地へ人を集めるといつてもそうはいかない、品揃えやサービスをj見ても計画的に最新の情報を活かして営業しているところに皆がでかけて行くのは自然の理です。都市は歴史的に見ても賑わいの場所がその時々で変わっていくわけですから、それ自体は否定すべきではありません。問題



2007 春 vol.11

contents

- 1 特集対談
地方都市の中心市街地とUR都市機構の役割
～中心市街地活性化法をめぐって～
岸井 隆幸 日本大学理工学部土木工学科教授
近藤 秀明 UR都市機構理事

- 7 UR Project
拠点都市の顔づくり 第一種市街地再開発事業 防府駅てんじんぐち地区
沖繩中の町A地区 第一種市街地再開発事業 コザ・ミュージックタウン

- 9 都市の情景
五つの都市の絆が結晶してきずな
北九州市役所展望階から リバーウォーク北九州

- 11 連載 “いま光る” 都市を訪ねる 第6回
先進的都市再生施策の社会実験都市
公共交通の復権 富山市
西村 幸夫 東京大学大学院 都市工学専攻教授

- 13 シリーズ 街が甦るミュージアム④
発想を逆転 世界のコレクションがすべて所蔵品 国立新美術館

- 15 UR Report
第3回 都市再生フォーラム 基調講演/パネルディスカッション
街中ルネッサンス 中心市街地の再活性化
基調講演「地域の自立化と『まちなか』再生にむけて」
牧野 光朗 長野県飯田市長
パネリスト
遠田 公夫 セントラルホテル佐世保 代表取締役社長/よさこい佐世保祭 実行委員会顧問
馬場 正尊 建築家/Open A代表/東京R 不動産制作ディレクター
コーディネーター・パネリスト
佐藤 友美子 サントリー一次世代研究所 部長

- 21 UR TOPICS/編集後記